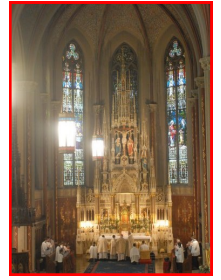




聖霊降臨

2014年 7月



イエスは昇天されて、私たちより先に天の父の家に行かれ、私たちの場所を準備してくださっています。それは私たちが、イエズスの内に、またイエズスとともに、聖なる家族の一員となったからで

す。しかし、人への神からの賜物はそれだけで終わりません。天に昇られたことで父と一つになられたイエズスが、神の霊である聖霊を私たちに送ってくださるのです。このように、三つの位格から成る最も聖なる三位一体は自らを人に与え、人を罪から救い出して聖なるものとし、その交わりへと導き入れるのです。

父と子と聖霊それぞれの愛をつなぎ、そのしるしとなる聖霊、そしてその賜物を引き受け、保証し、人の頭上に授ける聖霊は、イエズスの無限の功德を通して私たちの魂に恵みを与えられます。そうすることで、私たちを聖なるものとするイエズスの働きが完成することになるのです。愛の魂である聖霊が、その慈愛で私たちを変化させ、神のもとに戻るよう導くために、炎のような舌の形を取って使徒たちの上を下ってくることで、聖霊がどのように私たちに与えられたかが示されています。

聖ペテロは聖霊降臨後にこう言っています。「めいめい、イエズス・キリストの名によって洗礼を受け、罪を赦していただきなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けます。」私たちがどこに向かわなければならないか、イエズス・キリストを通すことで理解することができます。そして、聖霊が降りた今、私たちの終着点でありゴールにどう向かえばよいか、その手段を得ることができました。アダムとエバが世の始めに享受した神との一体が、もう一度私たちにも可能となったのです。



Pentecost (detail) by El Greco

しかしながら、神と完全に一つになるということはとても神聖なことです。イエズスの最初で最も偉大な掟である「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。」を見れば、神と完全に一つになるためには、神に向かって、完全に魂が向いていなくてははいけません。しかし実のところ、こうすることは、私たちの力だけでは不十分です。なぜなら、神と神への道について私たちが持っている知識は、とても不完全だからです。信仰の徳によって私たちに知性が与えられていても、どんな場合でもそれだけでは、神の実体を知ることはできません。私たちがこの世にいる限り、神を知るのは暗がりの中のグラスを通してですが、真正面から神と向きあうことができるのは、天においてのみなのです。

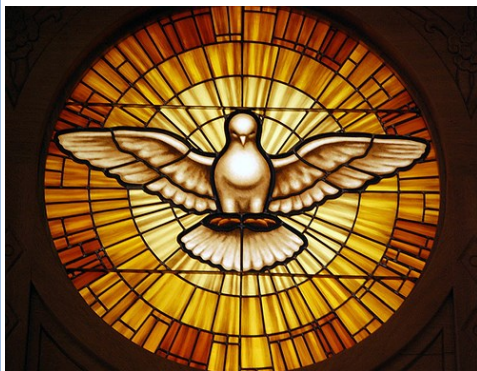
どんなに立派な意志を持っていても、多くの場合、私たちはよく過ちを犯します。では私たちは、神聖さとか神との友好的な関係を、放棄しなくてはならないのでしょうか。いいえ、その必要はありません。

神は私たちが聖なるものとなることを望んでおられ、そのための方法をすでに用意してくださっているのです。神は私たちに聖霊を与えてくださったのです。



聖霊は神の奥深くにあるものを探求し、神の本質、神秘について完全な知識を持っています。私たちが私たちの意志だけで進もうとすれば、神へ向かう、旅路は、いつも不十分で不完全なものとなります。しかし、聖霊が間に入れば、聖霊は神と同じ働きをします。だからこそ、聖霊は神に向かって完璧に私たちを引っ張り、導くことができるのです。聖霊は私たちの意志に直接働きかけ、私たちの心を燃え立たせ、私たちの精神に光を照らしてくれます。これが「神を感じる心」の原点なのです。これを表現するのは、難しいですが、これがあってこそ、私たちは神を知り、神を味わうことができるのです。そして、神はたった一つであり、すべての被造物を超越して神は完全であり、神は私たちすべての愛に値するものであると、感じることはできるのです。そんな神のためであれば、どんな犠牲を払うことも可能だと思えるでしょう。このようにして聖霊は私たちが聖なるものとなる道に導いていきます。そしてこの助けは特別な魂だけに用意されたものではなく、私たち一人一人に与えられるものなのです。

私たちは毎日の生活の中で、正義や思慮深さ、自制心、力強さといった徳を実行できるよう努力しなければなりません。



神の恵みの中で徳を実践することにより、私達は聖霊の息吹を感じ取り、それに従うことができるのです。聖トマス・アキナスはその徳を舟の帆に例えています。

帆が風を受けて舟が進むことができるように、私たちの魂は、賜物によって聖霊が示す方向に導かれ、進む力を得ることができます。船乗りが舟に帆を立てれば、漕ぐだけでなく、風の力でも舟を進ませることになります。同じように、神が聖霊の賜物を私たちの魂に吹き込むとき、私たちが徳を実行するだけでなく、聖霊の仲立ちによっても前進することを、神は望まれているのです。船乗りは舟に帆を揚げることはできても、ひと吹き風の風も起こすことはできません。それに反し、神は聖霊の賜物を私たちに授けるだけでなく、意図されればいつでも、その賜物を実際に動かす力を神は持っておられます。この風こそが聖霊の息吹であり、聖霊の働きなのです。

さて、人は自分ひとりだけでこの推進力を理解し、これに従うことはできません。聖パウロはこう言っています。「俗的な人は神の霊に属する事柄を受け入れません。その人にとって、それは愚かなことであり、理解できないことなのです。」それでは、私たちがこの推進力に確実に気づくために、聖霊の賜物はどのように私たちに与えられたのでしょうか。この賜物がなければ私たちは聖霊の働きを受けることができません。そして、洗礼の時に授かった賜物は種のように、私たちが死ぬまで育ち、成長するようになっているのです。

今日の福音は、慈愛についてとても力強く語っています。慈愛は、聖霊が私たちの魂に内在することの条件であり、同時に結果でもあります。条件である理由は、イエズスご自身によれば、聖なる三位は愛することのできる魂の中だけに存在するからです。結果である理由は、私たちに与えられた聖霊によって、神の慈愛が私たちの心の中に注ぎ込まれるからです。

ですから、私たちが神の招きに応えれば、そのたびに、目には見えなくとも、神の慈愛の惜しみない働きによって、神は私たちの魂を繰り返し訪れ、私たちに慈愛と恵みを新しく与えてくださいます。このように、自然を超える私たちの生命は、聖霊の働きのもとで成長していきます。命を与え、形を変える神の愛の流れに、私たちの生命は取り込まれるのです。こうして、私たちの魂に聖霊が新しく注ぎ込まれ、神の賜物で私たちが満たされる新しい訪れのありさまを、私たちは聖霊降臨の祝日によって理解することができるのです。

みなさん、聖霊の息吹に私たちの魂と心を開き、その導きに確信を持ちましょう。

アーメン。



ラファエル植田勝行神父の米国での住所

St. Francis de Sales Oratory

2653 Ohio Avenue

Saint Louis, Missouri 63118

王たる宣教会のホームページ<<http://icrsp-jp.org>>

Email: sfds@institute-christ-king.org